

一般社団法人

樂水会



智者樂水
仁者樂山

東京海洋大学 品川キャンパス同窓会

楽水会の成り立ち

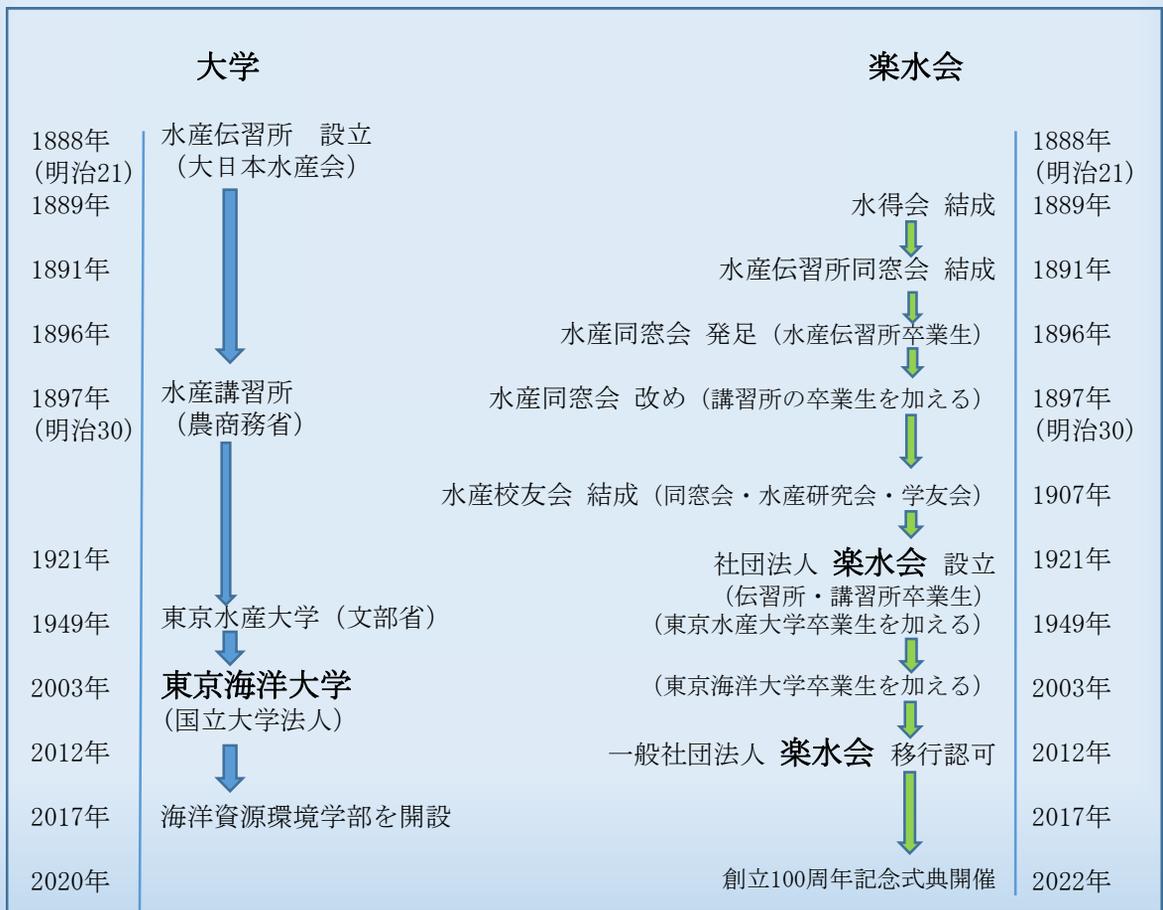
明治21年11月、日本の水産施設の拡充、欧米先進国からの水産技術の導入ならびに新技術の開発など水産振興政策を推進するため、大日本水産会所属の水産教育研究機関として、水産伝習所が設立されました。その後、水産伝習所は農商務省所属水産講習所へと発展し、戦後は文科省所属東京水産大学となりました。平成15年、東京商船大学と統合し、国立大学法人東京海洋大学が設置されました。

一方、教官・卒業生等は水産教育・研究ならびに産業の発展に貢献するため、すでに水産伝習所卒業生によって結成されていた「水得会」を母体に、明治30年12月、水産講習所卒業生も加え「水産同窓会」を組織し同窓会誌を発行しました。さらに水産教育・研究及び産業の発展を支援する目的で、学内の研究集会「東京水産学会」と合同し、学会の機関誌「水産」を同窓会の機関誌としました。

明治40年、新たに同窓等によって「水産研究会」が組織され、同窓会は同研究会及び在学生組織である「学友会」に合流して水産交友会を結成し、機関誌「水産研究誌」を刊行しました。交友会は5年後に解散しましたが、同窓会はその後も活動を続け、大正10年1月、農商務省の許可を受けて「社団法人 楽水会」に改組し、機関誌を「楽水」に改めました。

平成24年3月、公益法人制度に基づき、内閣府より「一般社団法人 楽水会」に移行認可を受け、令和3年1月、法人化してから創立100周年を迎えました。

大学と楽水会の歴史



楽水会の目的と活動

(1) 会の目的

水産業及び海洋に関する学術的進歩をはかるとともに、東京海洋大学と学生の支援、加えて会員の資質向上及び親睦をはかること

(2) 一般社団法人としての活動

- 水産業及び海洋に関する学術調査研究並びにその結果を会報誌により発表
- 東京海洋大学の教育・研究を支援する目的で、楽水会会員及び関係企業・団体の寄付を基に「学術研究奨励基金」を設立
- 楽水会館を建造し、大学へ寄贈
- 学生を対象にした「楽水会ランチ・セミナー」、総会記念講演会や「水産について考える会」等の各種セミナー開催
- メールマガジンの発行（年12回）
- 「快鷹丸遭難記念碑」及びメモリアルシップ「雲鷹丸」（登録有形文化財）の保存活動
- 世界最大の水産資料“セミ鯨”全骨格標本の保存活動
- 小型船舶操縦士免許教室の開催

(3) 同窓会活動

- 機関誌「楽水」の発行（年4回）及びWEB名簿の整備
- 卒業生の親睦と交流・ネットワークの構築
- 企業情報の提供、合同企業就職相談会等の就職支援
- 卒業祝賀会の開催
- 優秀な学生に対する楽水会奨励賞表彰



大学改革と東京商船大学との統合

平成15年10月1日、東京水産大学は東京商船大学と統合して東京海洋大学に、水産学部は海洋科学部に変わり、翌6年4月1日国立大学法人法の施行によって、海洋大学も法人化されました。このことによって全国立大学は一大改革の時代を迎えて新たな大学運営を模索することになり、大学と同窓会との関係も新しい時代を迎えることとなりました。

母校と同窓会の関係

これまで一般的に同窓会とは卒業生有志が集まって組織された任意の団体で、目的は卒業生間の交流や親睦を図ると理解されておりますが、法人化によって大学は運営の透明性（情報公開と説明責任）が求められると同時に運営実績に対する社会の評価を受けることとなります。具体的には研究面で研究成果に対する評価があり、人材育成の面で在学生や産業界で活躍する同窓も評価を受けることとなります。

同時に社会で活躍する同窓は大学に最も近い存在として社会のニーズを母校にフィードバックできる立場にあり、その意味で大学を評価する側にもなり、しっかりした同窓組織の存在は大学の評価に大きな影響を及ぼすこととなります。

これから大学間のサバイバル競争という激しい試練にさらされる母校を支え母校の社会的存在感の向上を目指すためには、教員、在学生、同窓が三位一体となって緊密な連携をとれるシステムが必要であり、品川キャンパスにあっては楽水会がその一端を担うことになると思います。

楽水会の名前の由来

楽水会の語源は、論語に書かれている『知者楽水』からとったもので、知者とは事理を良くわきまえた人のことを言い、留まることなく流れる水のように、流転の世相に誤りなく身を処し、水に親しみ楽しみ生きると言う意味です。

一般社団法人 楽水会

〒108-0075 東京都港区港南4-5-7

TEL : 03-3474-4523 FAX : 03-3474-8410

E-mail : rakusui@kaiyodai.ac.jp

<http://www.rakusui.or.jp/>
